

重点施策を推進する平成31（2019）年度の主な予定事業

（平成31年2月21日現在）

No.	重点施策の柱	施策	事業	事業内容	所管課	事業費 (単位：千円)
1	地方創生への取り組み	総合戦略の推進	若い世代の定住化と少子化対策への取り組み	保育園の待機児童ゼロ堅持をはじめ、若い世代の人が安心して子育てしやすい環境を整備するほか結婚相談事業や婚活イベントへの支援、産後ケア事業と産婦健康診査を、引き続き実施する。	子ども支援課・建築住宅課・健康づくり支援課	57,517
2			就労・起業・創業への支援	起業・創業への支援として、引き続き、「創業塾」・「起業個別相談会」をNPO法人や我孫子市商工会との連携により実施する。また、「創業支援補助金制度」により、創業者を支援するほか、若者と保護者を対象とした「就労相談会」、子育て中の女性を対象とした「再就職支援セミナー」や高齢者を対象とした「シニア雇用説明会」などを開催し、就労支援する。	企業立地推進課	3,378
3	手賀沼をはじめとする我孫子ならではの自然を大切に、環境にやさしい暮らしをはぐくむまちづくり	手賀沼・手賀川の活用	省エネルギー化の推進	31年度は、LED化が完了し、かつ市での管理を希望する102自治会の街路灯を市に移管する。自治会が管理する街路灯の付け替えや新設、維持管理費用への補助を行い、全街路灯のLED化の完了を目指す。また、公共施設の照明を順次、LED照明に交換する。さらに、住宅用省エネルギー設備の設置への補助を、引き続き行う。	施設管理課・資産経営課・道路課・手賀沼課	77,285
4			手賀沼・手賀川の活用	手賀沼・手賀川の一體的な活用に向けて、アクションプランをもとに、流域の柏市・印西市及び国・千葉県と連携しながら各市の交流拠点間のつながりづくりのほか、サイクリングロードや水辺のカフェの実現に向け情報交換と協議を行う。	企画課	—
5			手賀沼親水広場を中心とした交流人口の拡大と地域の活性化	31（2019）年夏のオープンを目指し、手賀沼親水広場のじゃぶじゃぶ池を整備する。なお、整備工事費は、30年度予算を繰越して実施する。	手賀沼課・商業観光課・農政課	2,319 (繰越79,890)
6	我孫子の資源をいかし、豊かな地域を創り出す活力あるまちづくり	あびこの魅力向上	あびこの魅力発信	引き続き、テレビやラジオ等を活用した情報発信を行うとともに、市のCMを放映するなど、我孫子の魅力を市内外に積極的に発信する。31（2019）年度は、移住定住PR冊子を新たに作成するほか、アットリンクビジョンを活用した情報発信を行う。	秘書広報課（あびこの魅力発信室）	18,104
7			文化財の保存と活用	旧井上家住宅の母屋の保存整備工事に向けた実施設計を2か年かけて行う。	文化・スポーツ課	3,078
8		産業・観光の振興	企業が進出・操業しやすい環境づくり	29年度に実施した「産業拠点検討調査」の結果を踏まえ、今後、産業拠点として展開していく地区について検討し、住混混在の解消を図るとともに、企業が進出しやすい環境づくりを推進していく。	企業立地推進課	98
9		手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	手賀沼沿いに位置する「根戸新田地区」「高野山新田・我孫子新田地区」「岡発戸新田地区」の3地区において、順次、用排水施設などの整備を行う。31（2019）年度は、引き続き、根戸新田地区の農業用排水施設等の整備工事を行う。	農政課	31,773	
10		地域コミュニティ活性化の推進	引き続き、新たな地区での地域会議の立ち上げを目指して、取り組みを進めていくほか、「市民公益活動支援指針」の見直しに伴い、意識調査を行う。	市民活動支援課	2,114	
11		東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み	スポーツボランティアを養成するための講習会を開催する。	文化スポーツ課	60	
12		通信インフラの整備	市内の駅前、観光施設、防災拠点を中心に優先順位の高い地点へ順次、公衆無線LANを設置し、サービスを提供する。31年度は、我孫子駅南口とけやきプラザ1階・11階に設置する。	文書情報管理課	5,527	

重点施策を推進する平成31（2019）年度の主な予定事業

（平成31年2月21日現在）

No.	重点施策の柱	施策	事業	事業内容	所管課	事業費 (単位：千円)
13	みんなが安全にくらせるまちづくり	自主防災組織への支援		地域の防災活動を支援するとともに、自主防災組織の活動支援として、新規結成した自主防災組織に対して、50万円を上限に資器材を交付する。また、引き続き、結成後25年経過し、かつ3年間継続して消防訓練を実施している組織に対して、30万円を上限に世帯数に応じた資器材を交付する。	市民安全課	1,516
14		防災情報伝達システムの管理運用		災害時の効率的情報伝達手段として防災行政無線設備の維持管理並びに運用の充実に努める。31年度は、我孫子南地区の防災行政無線の子局移設工事を行う。	市民安全課	6,281
15		防災用施設及び非常用備蓄品の整備		災害時における市民の避難生活の安全・安心を確保するため、防災備蓄倉庫や備蓄品の整備を進める。31年度は、小学校2校に備蓄倉庫を設置する。	市民安全課	869
16		消防施設・総合訓練施設の整備		東消防署湖北分署及び訓練施設の整備に向けた用地取得等を進める。	消防総務課	83,619
17		消防団施設の維持管理		消防団の活動環境を整えるため、消防団施設の改築・維持管理を行う。31年度は、第9分団器具置場建替え工事等を行うとともに、第2分団器具置場の整備に向けた準備を進める。	警防課	37,781
18	若い世代に選ばれるまちづくり	水害対策	布佐排水区の雨水幹線整備ほか	我孫子4丁目調整池及び柴崎排水区後田樋管は今年度の完了を目指す。布佐排水区及び柴崎排水区では、引き続き雨水幹線の整備を行う。天王台6丁目地区では、雨水幹線整備工事の31年度末の完了を目指す。若松地区では、引き続きバイパス管の工事を行う。なお、天王台6丁目地区の事業については、一部国の補正予算を活用して30年3月補正に予算計上している。	治水課	501,500 (補正55,000)
19		公園のバリアフリーの推進		公園のバリアフリー化や改修を計画的に進めていく。31（2019）年度は、布佐南公園のバリアフリー整備を行う。	公園緑地課	39,987
20		保育園・幼稚園等の充実		31年4月から、認定こども園に移行するわだ幼稚園と、子ども・子育て新制度の幼稚園に移行する湖北白ばら幼稚園を支援する。	保育課	118,570
21	若い世代に選ばれるまちづくり	小学生の放課後対策事業の充実		提案型公共サービス民営化制度を活用し、我孫子第二小学校は4月から、新木小学校は8月から、学童保育室とあびっ子クラブの運営を民間事業者に委託する。	子ども支援課	33,634
22		小中学校の教育環境の整備		老朽化した給水設備や給食設備、消防用設備及びプールろ過装置を整備する。さらに、第二小学校の校庭のトイレを整備する。	教育総務課・学校教育課	113,739
23		小中学校施設の個別施設計画の策定		老朽化した施設が増加する中で、中長期的なトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るため、学校施設の個別施設計画を策定する。	教育総務課	10,637
24		交通利便性の向上	快適に利用できる公共交通の確立	3月1日の改正により、「アイバス」の増便及び停車場増設が実施される。また、国道356号バイパスの整備状況を踏まえながら、シャトルバスの検討を進めるほか、ユニバーサルデザインタクシーの導入支援を行う。	交通課	600
25		交通利便性の向上	常磐線・成田線の利便性向上	引き続き、JR東日本への要望活動を行う。我孫子駅構内のエレベーター整備について、設計業務をJR東日本と協議しながら進めていく。	交通課・企画課	19,000
26	誰もが生涯をとおして、健康で自立した生活を安心しておくれるまちづくり	市独自の予防接種への補助		引き続き、子どもの受ける任意予防接種「小児インフルエンザ」や「ロタウイルス感染症のワクチン」、法定の対象外となる年齢の高齢者への「高齢者肺炎球菌予防接種」への助成を行う。さらに、31年度は「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれないう、妊娠を希望する女性等を対象に、予防接種への助成を行う。	健康づくり支援課	28,929
27		胃がん検診		検診を通して、胃がんの早期発見・治療を目指す。31年度は、50歳以上かつ偶数年齢を対象に、胃内視鏡検査を導入するとともに、専門医による読影研修や画像評価を実施する。	健康づくり支援課	20,072
28		高齢者・障害者への支援、自殺対策		高齢者支援では、我孫子南地区への高齢者なんでも相談室の新設や、生活支援体制の拡充などを行う。障害者支援では、つくし野に整備する就労継続支援B型事業所への補助と災害時の要支援者を配慮するためのベストを作成する。自殺対策では、ゲートキーパーを養成するための講座を開催する。	高齢者支援課・障害福祉支援課・社会福祉課	24,670

重点施策を推進する平成31（2019）年度の主な予定事業

（平成31年2月21日現在）

No.	重点施策の柱	施策	事業	事業内容	所管課	事業費 (単位：千円)
29	その他の都市基盤整備	手賀沼公園・久寺家線の整備		用地取得や物件移転補償等を進め、早期完成を目指す。	交通課	266,504
30		下新木踏切道の改良		下新木踏切とその接続道の拡幅に向け、用地取得等を進める。31（2019）年度から2か年かけて、JR東日本により踏切改良工事が行われる。	交通課	73,003
31		新クリーンセンターの整備		2022年度末の稼働を目指し、老朽化した廃棄物処理施設の更新を進めていく。31（2019）年度は、土壌汚染対策工事に伴う実施設計を行うほか、新廃棄物処理施設の建設及び運営・維持管理事業者を決定する。	クリーンセンター	47,568
32		橋りょうの長寿命化		市内にある橋りょうについて点検し、老朽化している橋りょう等を計画的に改修するため、31（2019）年度は計画策定を行うほか、下沼田5号橋の補修設計を行う。	道路課	12,540
33		都市計画道路下ヶ戸・中里線外1線の整備		国道356号バイパスの進捗状況をふまえ、道路詳細設計を行うとともに、用地取得等を進めていく。	交通課	26,400
34	行財政改革の推進	行政改革の推進	人件費の抑制	今後も適正な給与水準に努める。	総務課	—
35			事業仕分け	大規模事業を見据え、財源を確保する視点をもって、引き続き実施する。	総務課	—
36			歳入の確保	クラウドファンディングの活用、公共施設や印刷媒体への広告掲載など、積極的に新たな財源の確保を図り、収入の確保に努めていく。さらに31（2019）年度は、ふるさと納税のインターネット窓口を3事業者に拡大する。	財政課	8,073
37			提案型公共サービス民営化制度の推進	引き続き、提案型公共サービス民営化制度に基づいて、提案を募集する。	総務課	63
38			公共施設の老朽化対策	市民体育館や市営住宅をはじめ、老朽化の著しい公共施設の維持補修等を行う。	施設管理課・市民活動支援課・保育課・文化・スポーツ課・建築住宅課・消防総務課	160,861
39		下水道事業の公営企業会計への移行	下水道事業の経営状況を的確に把握できるよう、32年度の公営企業会計への移行に向けて計画的に移行できるよう準備を進めていく。31（2019）年度は、システムの導入等を行う。	下水道課	40,510	
40	その他	文化交流拠点施設整備の検討		建設構想案を策定し、31年春頃のふれあい懇談会等で広く市民の意見を聴く。	企画課・生涯学習課	—
41		次期総合計画の策定と現基本計画の見直し		市民アンケート、人口推計、財政シミュレーションを実施し、総合計画審議会等踏まえ、2022年度を開始年度とする総合計画を3か年かけて策定する。31（2019）年度は、市民アンケート、人口推計実施のための支援業務委託、総合計画審議会を実施するほか、第三次基本計画の見直しを行う。	企画課	6,671
42		市制施行50周年記念事業		2020年の市制50周年を記念し、オリジナル年賀ハガキの作成等を行う。	秘書広報課	2,064
43		放射能対策		引き続き、子どもたちの生活空間を中心に放射線量を測定し、局所的に基準値以上の箇所が見つかった場合は速やかに対応するなどの放射能対策を行う。	手賀沼課（放射能対策室）ほか9課	257,604